

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和6年8月20日(2024.8.20)

【公開番号】特開2024-50853(P2024-50853A)

【公開日】令和6年4月10日(2024.4.10)

【年通号数】公開公報(特許)2024-066

【出願番号】特願2024-17544(P2024-17544)

【国際特許分類】

H04N19/70(2014.01)

10

【F I】

H04N19/70

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月9日(2024.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エンコーダによって符号化されたビデオシーケンスを送信する方法であって、前記ビデオシーケンスに関連する最大変換サイズを使用して符号化された前記ビデオシーケンスを取得するステップであって、前記最大変換サイズが32又は64である、ステップと、

前記最大変換サイズを示すハイレベルのシンタックスエレメントと共に、前記ビデオシーケンスを送信するステップと
を含み、

サブプロック変換(SBT)モードが有効である場合、前記SBTモードを許容する最大プロックサイズは前記最大変換サイズによって制限され、

前記最大変換サイズが32であることを前記ハイレベルのシンタックスエレメントが示す場合、前記SBTモードを許容する前記最大プロックサイズは、前記最大変換サイズである32と最大SBTサイズとのいずれか小さい方であり、前記最大変換サイズが64であることを前記ハイレベルのシンタックスエレメントが示す場合、前記SBTモードを許容する前記最大プロックサイズは、前記最大変換サイズである64と前記最大SBTサイズとのいずれか小さい方である、方法。

【請求項2】

前記ハイレベルのシンタックスエレメントは、ビデオパラメータセット(VPS)、シンクスパラメータセット(SPS)及びピクチャパラメータセット(PPS)のうち1つである、請求項1に記載の方法。

40

【請求項3】

前記ハイレベルのシンタックスエレメントは、スライスヘッダ、タイルヘッダ、タイルグループヘッダ及び符号化ツリーユニット(CTU)ヘッダのうち1つである、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記最大変換サイズは、最大変換幅及び高さ又は最大変換ユニット領域に対応する、請求項1乃至3のうちいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

符号化されたビデオシーケンスを送信するデバイスであって、

50

プログラムコードを記憶するように構成された少なくとも1つのメモリと、
前記プログラムコードを読み取って請求項1乃至4のうちいずれか1項に記載の方法を
実行するように構成された少なくとも1つのプロセッサと
を含むデバイス。

【請求項6】

符号化されたビデオシーケンスを送信するデバイスのプロセッサに、請求項1乃至4の
うちいずれか1項に記載の方法を実行させるコンピュータプログラム。

【請求項7】

エンコーダによって生成されたビデオシーケンスを含むデータ構造であって、
前記ビデオシーケンスに関連する最大変換サイズを示すハイレベルのシンタックスエレ
メントであって、前記最大変換サイズが32又は64である、ハイレベルのシンタックスエ
レメントと、

前記最大変換サイズを使用して符号化された前記ビデオシーケンスと
を含み、

サブブロック変換(SBT)モードが有効である場合、前記SBTモードを許容する最大ブロ
ックサイズは前記最大変換サイズによって制限され、

前記最大変換サイズが32であることを前記ハイレベルのシンタックスエレメントが示
す場合、前記SBTモードを許容する前記最大ブロックサイズは、前記最大変換サイズであ
る32と最大SBTサイズとのいずれか小さい方であり、前記最大変換サイズが64であるこ
とを前記ハイレベルのシンタックスエレメントが示す場合、前記SBTモードを許容する前
記最大ブロックサイズは、前記最大変換サイズである64と前記最大SBTサイズとのい
ずれか小さい方である、データ構造。

10

20

30

40

50